

## 第13回高玉芝居定期公演 広がり続ける義理人情劇

毎年恒例の高玉芝居定期公演は11月23日、今年も満員の観客で埋め尽くされたさくらの里文化伝承館（蚕桑地区コミュニティセンター）で開催されました。

この日の演目は、9月に瑞龍院で上演された「松竹梅 三兄弟 五月の仇討」の完結編。物語後半の台本がないため、瑞龍院上演は仇討に向かおうとする場面で終わりましたが、続編を期待する要望を受け、オリジナルの台本をつくっての上演となりました。芝居は、最後に兄弟そろって親分の仇討をする場面で盛り上がりが最高潮に。観客からは「（瑞龍院上演の）続きが気になっていたので満足。とてもよかった」と笑みがこぼれました。



## 第58回西置賜地区駅伝競走大会 3連覇を目指すも優勝まであと一步

爽やかな秋晴れとなった11月6日、西置賜1市3町でたすきをつなぐ西置賜地区駅伝競走大会が開催されました。

コースが一部変更された今大会は、小学生区間が1区間増となりましたが、町からは今年も2チームが出場。前半でやや出遅れた白鷹町チームでしたが、3連覇をかけて後半に巻き返し。しかし、最後は長井市に逃げ切れ、約30秒差の2位と惜敗しました。それでも、小学生を中心に12区間中6区間で区間賞を獲得。町の今後の陸上長距離競技の発展を期待させる力走を見せました。



### 【区間賞】

1区 中村咲楽(鮎貝小6年)	8区 手塚雄一朗(十王)
4区 中村雅楽(鮎貝小4年)	9区 馬場一翔(鮎貝小5年)
6区 菊地愛羅(東海大山形1年)	10区 國谷美裕(荒砥小6年)

## 甘くて酸っぱい白鷹の紅(あか) 鮎貝小学校でりんご収穫体験

鮎貝小学校の3年生26人は11月10日、学校近くのりんご畑で、自分たちが摘果、葉摘みをして育てたりんごを収穫しました。

今年のはりんごは、天候の影響で全体的に色つきが良くなかったとのことでしたが、それぞれが葉摘みの際にシールを貼った自分のりんごを見つけると、「あ、俺のあった!」と笑顔に。一つのはりんごも残すことなく収穫した児童たちは、最後に採れたてのりんごをいただき、「甘酸っぱい」「冷たくておいしい」と大喜びでほおばりました。

